

令和5年度事業報告書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

特定非営利活動法人 里山コミッション

- ・ 通常総会（開催年月日 令和5年6月3日）
 - ① 令和4年度事業報告及び収支決算について
 - ② 理事及び監事の選任について
 - ③ 理事長及び副理事長の報酬額について
- ・ 第1回役員会（開催年月日 令和5年6月3日）
 - ① 令和5年度事業計画及び予算について
 - ② 役員を選任について
- ・ 第2回役員会（開催年月日 令和5年7月28日）
 - ① UIターン者定着事業など新規事業について
 - ② カラダにやさしい里山農業栽培塾について
 - ③ 玄米摂取調査フォローアップ事業について
 - ④ 移住定住事業のアウトソーシングについて
 - ⑤ 令和5年度事業の進捗状況について
- ・ 第3回役員会（開催年月日 令和6年3月9日）
 - ① 令和5年度事業の執行状況について
 - ② 令和6年度事業計画について
 - ③ 町への提言報告及びその後の状況について
 - ④ 理事の退任及び新任について

1 事業成果

設立趣旨である町内企業等の事務支援や企業や民間団体と住民をつなぐ中間支援サービスなど多様な形態での地域支援活動を継続して実施した。飯南町総合振興計画においても中間支援組織の重要性を掲げられており今一度、設立趣旨の原点に返り活動する3年目、ふるさと定住財団「UIターン交流促進事業」の継続採択を受け、毎月第一火曜日を「コメタバ塾」とし、UIターン者、地元農家の方なども参加され「何でも放談」を継続実施した。飯南町長様や県内民間企業トップの方をお招きし、町の魅力を再確認するとともに、移住者同志の交流の場づくりに大きく貢献してきた。その成果もあり令和6年4月1日から飯南町定住支援センター業務を町からアウトソーシングいただくこととなり業務を開始することとなった。地域おこし協力隊員業務や職業紹介業務などは4月以降となるが「定住後のホローをして欲しい」などに対応するため令和5年4月4日開設した「移住者等サポートセンター」を同センターに移管、町と情報を共有し交流人口の拡大、定住者の増加に取り組んでいる。

近年、食物アレルギーの方が多くなり10人中2人が該当するようになっている。

また、健康志向の方も多くなり農薬など不使用の農産物が注目されている。4月から「カラダにやさしい野菜栽培実践里山塾」を創設し、町内ほ場でジャガイモの植え付けや野菜の種まきなどの実践を開始した。町内農家の後継者の方も参加されており、町内直売所及びiマルシェ並びに世田谷区民祭りなどで少量ながら販売をおこなった。参加者はUIターン者が中心であり、この町に移住するきっかけづくりには、農業がキーポイントとなる。農業団体等と連携し、システムづくりを進めてゆきたいと思う。

地域の暮らしを支える生活支援サービスとして墓掃除作業や空き家管理作業を行っており年々、受託件数は多くなっている。町内から撤退された事業所（工場）の物件管理、県内外所有者の家周辺の清掃など、従事者を定年退職リタイア者のスモールビジネスとして位置づけ事業PRをしている。働き手の方の不足もあることから「ご縁つなぎ」と称し、賛助会員登録による企業・個人の方へのマッチングサービスを開始2年、参加団体が数社になった。また、これから増加する空き家の処分についてビジネスとして捉え、県内不動産業者との連携協定を締結した。

元熊本世田谷区長様のご尽力により友好市町村のみが参加資格のある世田谷区民祭に参加、町内製品の紹介、飯南町のPRを行った。有機野菜を中心に販売をしたが即日完売となり、健康志向の高まりやアレルギー対応商品への転換などを肌で感じたところである。また、町推奨作物として取り組んでいる干し芋を持参したが、茨木県など他産地との競合もあり商品戦略を今一度、熟考する必要があると感じた。令和3年から出展している練馬区NPO法人「楽膳倶楽部」との交流イベントに参加し、飯南米を含めPR販売を行った。近郊農園からの野菜販売もあっていたが、無農薬無化学肥料栽培であり、その素材を使ったドレッシング商品など他産地との差別化が必要と痛感した。同倶楽部は子供食堂など食育を中心にしたか活動もしておられ今後も町内食材（飯南米を含め）を提供し継続してイベント交流を行うこととなっている。広島市内のショップ（一福緑井店内）は、一福様ご協力により店舗内に飯南商品の売り場を設置いただき、ブルーベリージャム・パプリカドレッシングなど特色のある飯南商品を販売させていただいている。たかのぼし商店街との交流から飯南産米の販売を商店街内で行っていただいている。たかのぼし夏祭、商店街年末セーを実施した。JR伊丹駅構内にある「伊丹市観光物産館」での商品販売は一昨年、館の運営が市から民間組織へ移管となったが継続してとんぼら餅など購入いただいております。物産館との協議により3社6品目を常時販売いただいている。

企業など町内各種団体等の支援事業は当法人の大きな自主財源となっており経理事務の支援、販路先の紹介斡旋など一層、中間支援業務を強化することとしている。一昨年、来島地区新聞配達に関して、山陰中央新報社などから人材発掘の要請があり、中間支援として配達員を当法人で確保し来島地区の新聞配達が続けられたところである。このようなケースがこれから多くなると考えられる。「地域をみんなで守る」

そのリーダーとしての当法人の役割は大きくなるものとする。

新規事業として、スポーツダーツによる食と健康づくりを進めている。県社会福祉協議会助成金事業は不採択となったが、中国労金寄付金事業に採択され、高齢者から子供たちの交流場づくりに貢献している。現在、赤名、谷公民館を中心に行っているが町内一円の普及を目指す。

最後に、三次市にある「飯南町交流物産館」の経理事務等の受託について、少し触れる。組合員からの要請があり令和3年6月から経理事務及び人事管理及び県内商品等の仕入れなどを行っている。売上は、野菜等を中心に着実に増加し4千万円を超えている。当法人は、特色ある地域農産物栽培に力を入れており、前述した「カラダにやさしい野菜栽培実践里山塾」での取り組みを土台に栽培の輪を広げるため、カラダにやさしい野菜コーナーで販売している。

生命地域宣言の再構築が今こそ必要な時と考える。人口増加による食糧難、異常気象による食糧不足、サプライチェーンの崩壊による我が国への輸入量の減少など農産物栽培に適した我が地域は、その先頭に立ち、持続可能な地域イメージを発信しようではないか。令和6年も若い方々を中心に安心安全な農産物栽培や加工品開発など産業・起業お越しに組みたいと考える。地方交付税に依存する割合の高い小規模自治体は行政業務のワークシェアリング化などにより経費削減を進めることとなる。その受け皿として、過疎高齢化の進む中山間地域の生活・産業振興に組み地域発展に寄与したいと考える。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
生活等支援サービス事業	生活・事務支援事業 (草刈り等30件)	5.4～ 6.3	町内	20名	33名	83
地域団体支援事業	ヤマトイモ生産組合支援事業	5.4.1～ 6.3.31	町内	事務局1名	栽培支援	20
	町民味噌加工支援事業	4.1.26～ 5.2.23	町内	加工従事者7名 事務局1名	味噌加工者 59名	358

	新聞配達事業	5.4.1～ 6.3.31	町内	配達員 1名		1,566
	他団体等支援事業	5.4.1～ 6.3.31	町内	事務員ほ か2名	2団体等	3,871
販路拡大・ 産業活性化 事業	イベント事業 ① 世田谷区民祭 ② 練馬交流 ③ たかのぼし応援 ④ たかのぼし応援 ⑤ 近畿県人会 販売促進事業 ① 伊丹観光物産館 ② 広島ショップ	5.8.5,6 5.11.12 5.6.14 5.12.12 5.11.11 常設 常設	東京都 東京都 広島市 広島市 大阪市 伊丹市 広島市	4名 1名 2名 2名 1名 1名 1名	13事業者委託 6事業者委託 10事業者委託 10事業者委託 6事業者委託 4事業者委託 3事業者委託	1,118
総務管理	経理処理事業ほか	通年		1名		861

(2) その他の事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の 人数	受益対象者 の範囲及び人数	支出額 (千円)
	なし					